鎌錠(長座)取付説明書　LZKVT

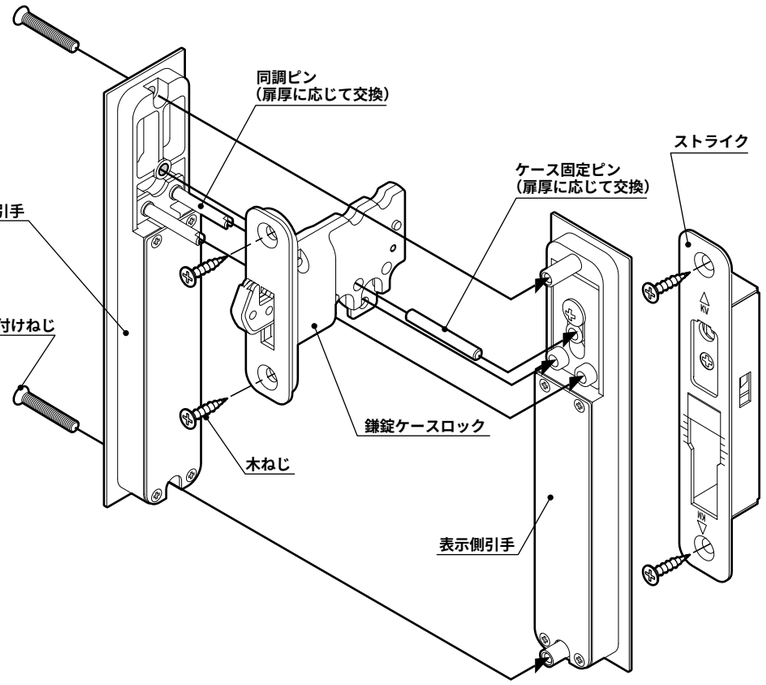
KV-07

当製品は、扉厚対応を2種類のピンの長さにて対応しています。下記説明図を参考に適正な部品を選んで施工してください
※対応扉厚28～40mm

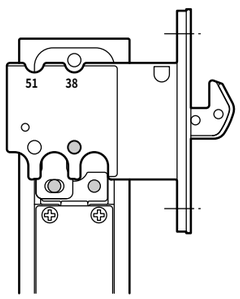
鎌錠・セット位置と各部の名称

B.S.38㎜の場合

KV07
※簡易シリンダー錠同様。

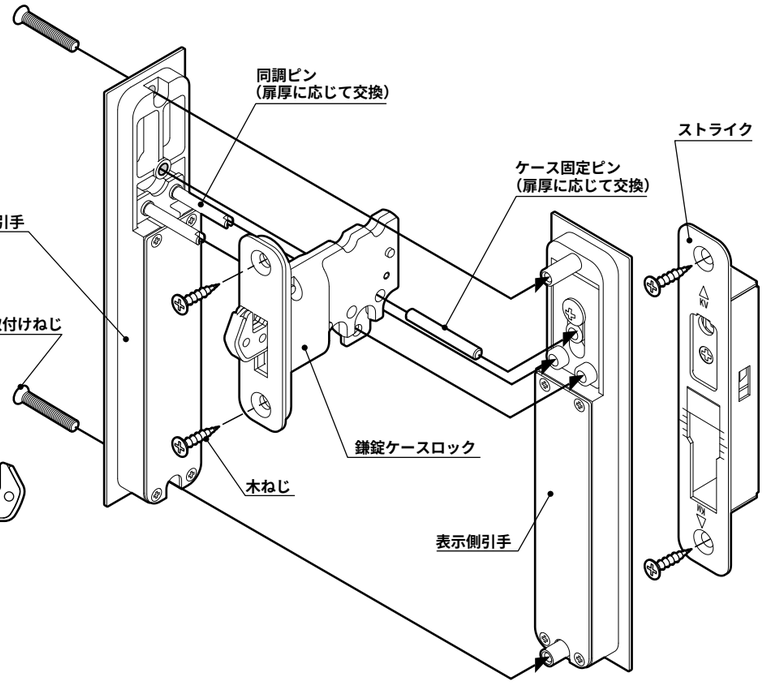


●取付け位置
鎌錠に38と刻印してある窪みを、引手の中心にしてください。

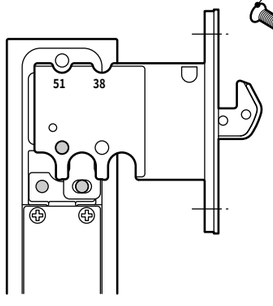


B.S.51㎜の場合

KV07
※簡易シリンダー錠同様。

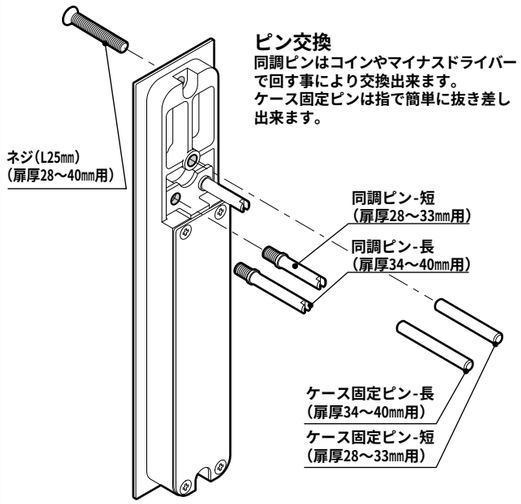


●取付け位置
鎌錠に51と刻印してある窪みを、引手の中心にしてください。



●扉厚の対応(28㎜～40㎜まで対応)

扉厚により付属のネジとピンを交換します。
※出荷時は28㎜～33㎜に設定されております。

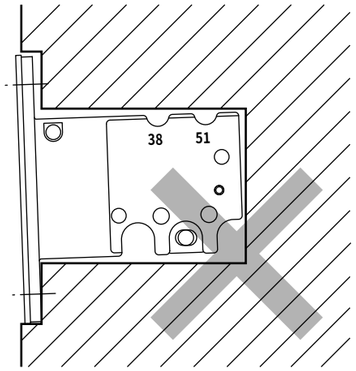


ピン交換
同調ピンはコインやマイナスドライバーで回す事により交換出来ます。
ケース固定ピンは指で簡単に抜き差し出来ます。

※別売にて扉厚41～50㎜対応の取付けセットもございます。
お問い合わせください。

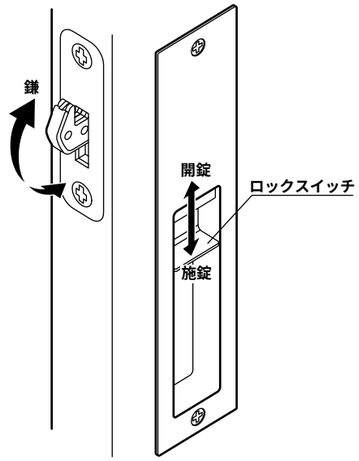
●鎌錠ケースロックの取付け注意事項

⚠ケースロックは扉と平行に取付けてください。
平行に取付けないと正常に機能しません。



●施錠のチェック

①ロックスイッチを下にスライドさせると鎌が出ます。
②ロックスイッチを上下させて、鎌の出し入れがスムーズか確認してください。

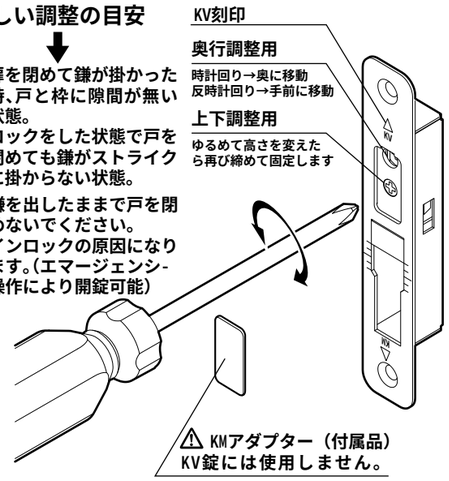


●ストライクの調整

⚠ストライクのフロントに刻印された「KV」と記入してある方を上に向けて取付けてください。

正しい調整の目安

①扉を閉めて鎌が掛かった時、戸と枠に隙間が無い状態。
②ロックをした状態で戸を閉めても鎌がストライクに掛からない状態。
⚠鎌を出したままで戸を閉めないでください。
インロックの原因になります。(エマージェンシー操作により開錠可能)

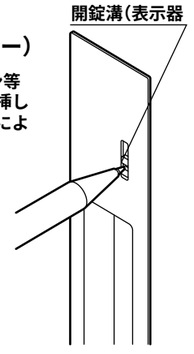


●調整対処方法

症状		
カマが掛からない	上下調整	適正へ
	奥行調整	手前に
扉と枠に隙間がある	奥行調整	奥へ
ロックスイッチの動きが固い	上下調整	やや上げる
	奥行調整	手前へ
ロックしたのに扉が開く	上下調整	下へ

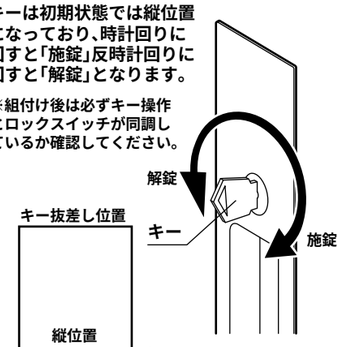
●非常解除方法(エマージェンシー)

非常時の開錠は、ペン等を表示器の開錠溝に挿し込み持ち上げることにより行えます。



●簡易シリンダー錠の操作方法

キーは初期状態では縦位置になっており、時計回りに回すと「施錠」反時計回りに回すと「解錠」となります。
※組付け後は必ずキー操作とロックスイッチが同調しているか確認してください。



⚠ご注意:
キーを抜く際は必ず縦位置に戻してから行ってください。

無理にキーを抜こうとすると破損して作動しなくなるおそれがあります。

当簡易シリンダー錠は鍵違い数が14までとなっており、防犯用途にはご使用出来ません。
あくまで、家族内でのプライバシー保護のためのものとご理解願います。

⚠ ご注意

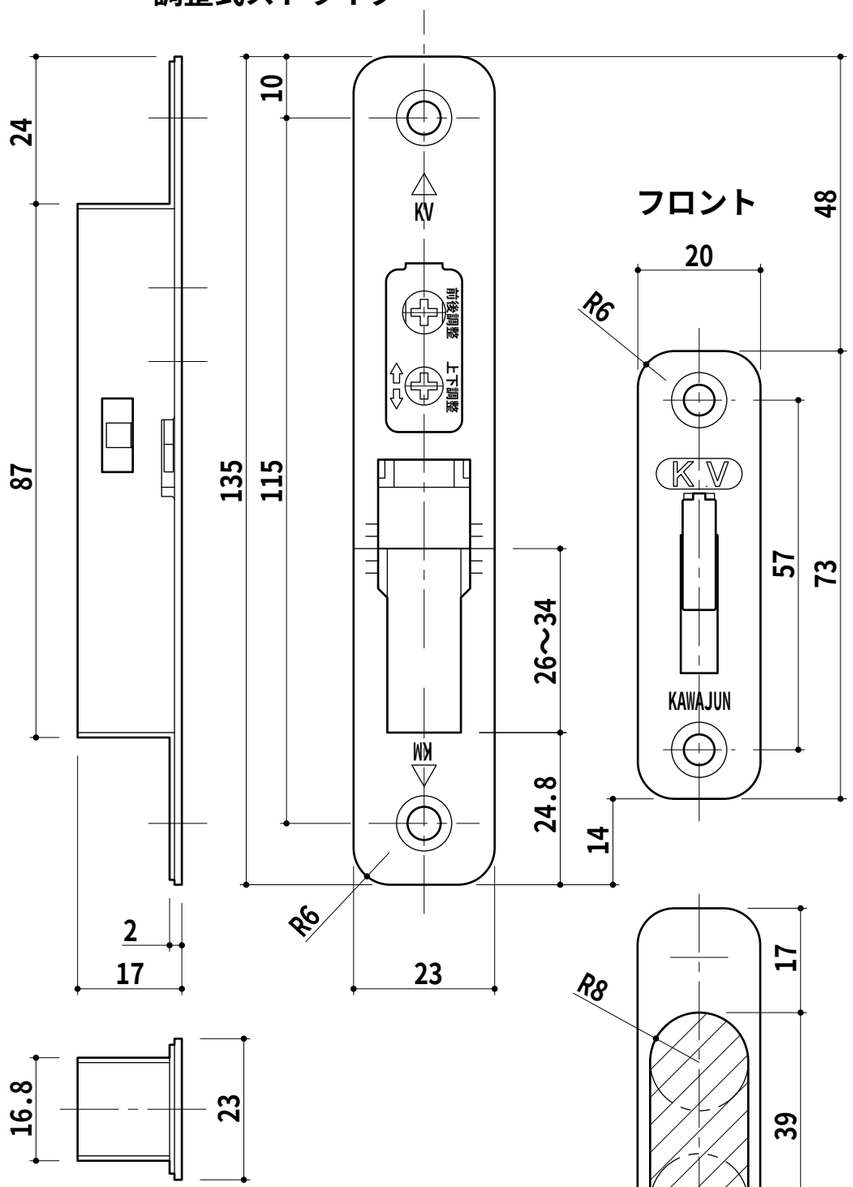
●取付けの際は、取扱説明書をご確認の上、正しく施工してください。また取付け後、必ず動作確認をしてください。
●商品の取扱説明書は、取付け後も廃棄せずご使用者にお渡しください。
●屋外など水がかかったり湿気が多い場所には設置しないでください。部品などが腐　食して、破損しやすくなりケガをするおそ　れがあります。

メンテナンスについて

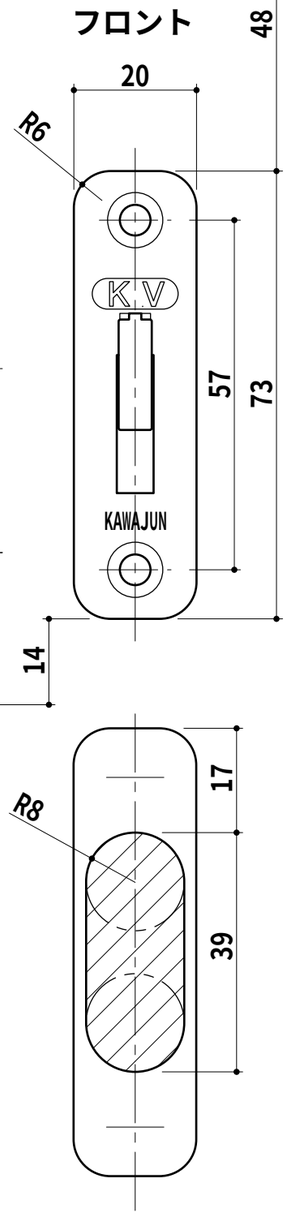
●定期的に乾燥したやわらかい布で軽く拭いてください。(必要以上に強くこすらないでください。キズがつくことがあります。)また、汚れがひどい場合は、水に浸して固く絞った布か、水で薄めた中性洗剤(5～10%程度)に浸して固く絞った布で拭き、乾いた布で仕上げてください。
●ベンジン、シンナー、アルコール、トイレ用洗剤、防カビ剤、塩素系洗剤、強酸および強アルカリ性薬品等は表面を痛めますので絶対に使用しないでください。
※上記成分の含まれる除菌シート等もご使用にならないでください。

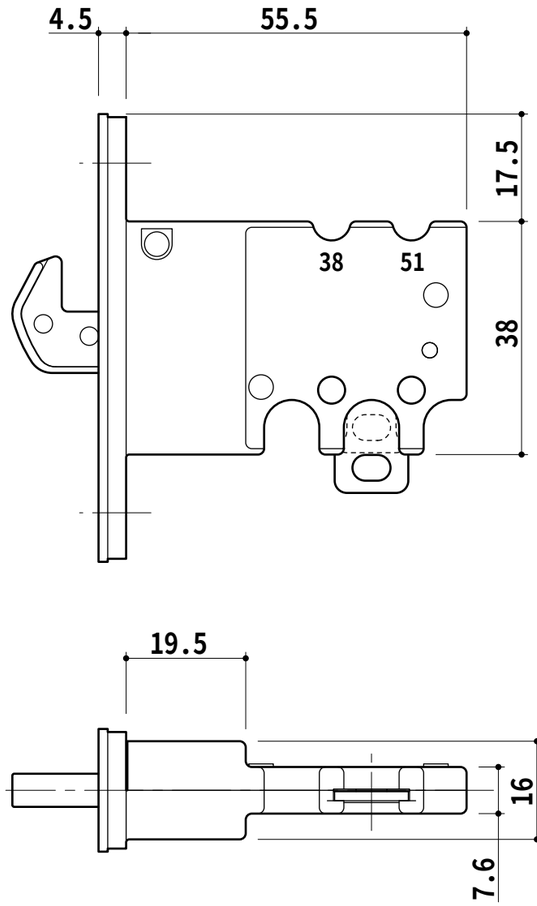
KAWAJUN
www.kawajun.co.jp

調整式ストライク

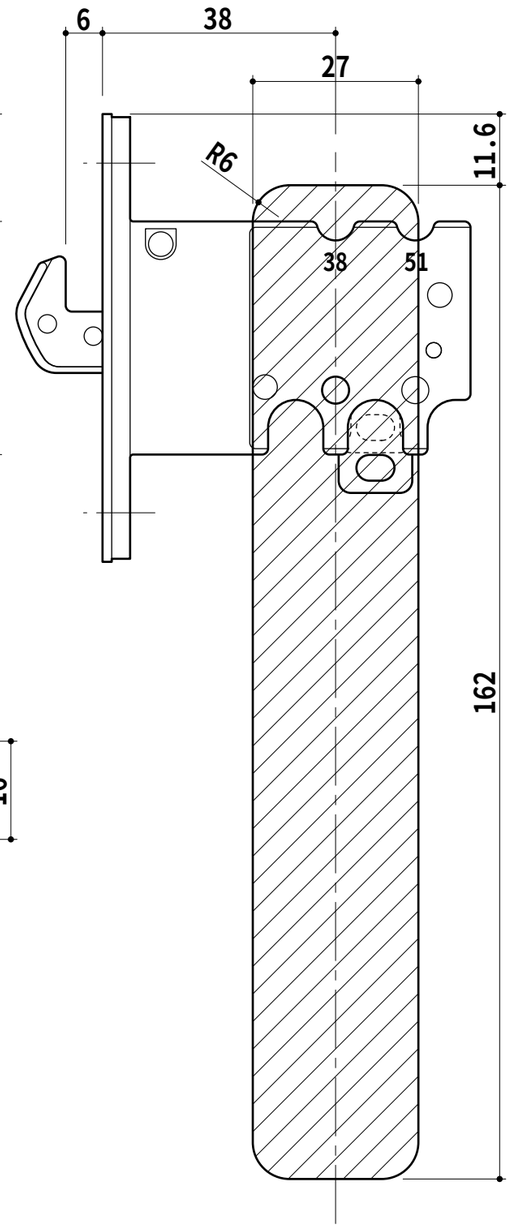


フロント

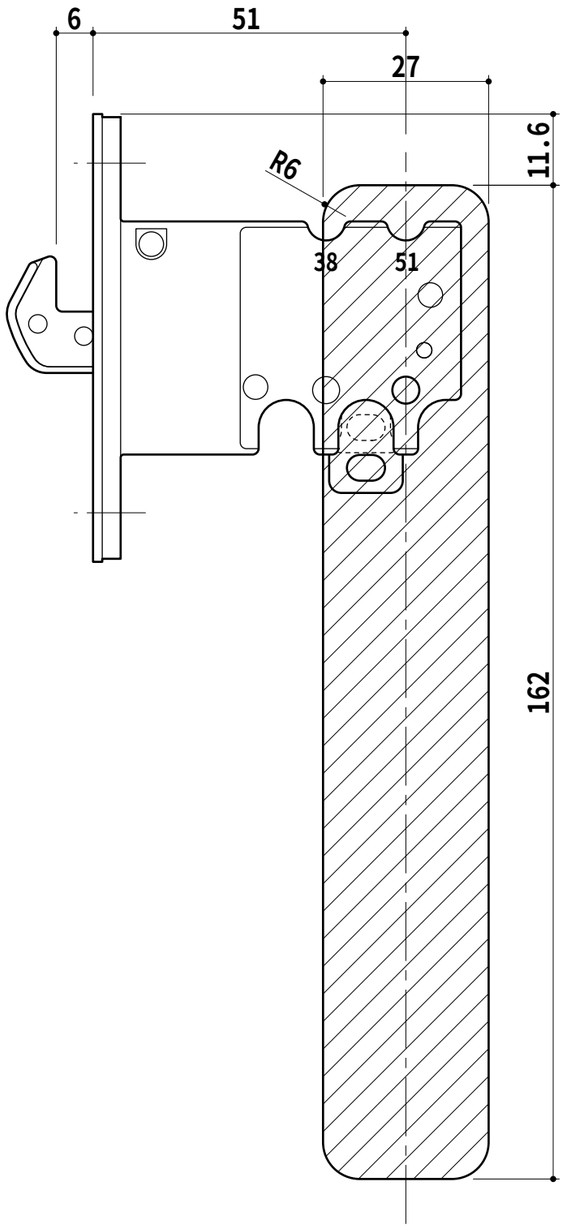




●バックセット38の場合



●バックセット51の場合



ケース切欠

切欠穴